【　OP　TM　】　CI　～

久礼　ラジオ日本をお聞きのみなさま、こんばんは。

　　　久礼亮一です。

尾花　こんばんは、尾花貴絵です。

　　　（フリートーク）

　・

　　　この番組「埼玉　彩響のおもてなし」は、

埼玉の魅力（企業・人）を紹介していきます。

毎週様々な分野から、 埼玉に縁のあるゲストをお迎えし、

その活動、活躍についてお話を伺います。

ゲストのパーソナルな部分や、埼玉県の魅力を

リスナーのみなさんに知ってもらおうという番組です。

　　　1947年～1949年に生まれたか方を団塊世代といいますが、

その団塊世代の方が2025年になる年齢が75歳となり、

人口に対する65歳以上の高齢者の割合が高くなると言われています。

後期高齢者の人口が増え、医療や介護、年金など、様々な問題が

生じるのではないかということで、2025年問題とも言われていますが、

その中で認知症の高齢者の増加も懸念されています。

現在も、認知症の高齢者をどのように地域で見守っていくのか･･･、

自治体それぞれの取り組みが実施されていますが、

今日は、そんな認知症の高齢者の見守りを支援する「爪Qシール（ツメキューシール）」

を開発された、

株式会社オレンジリンクス代表取締役　吉田裕貴子さんがゲストでいらっしゃいます。

開発された「爪Qシール」のことを始め、高齢者を見守る地域とは、どのような社会なのか

お聞きしていきます。

久礼　それでは、久礼亮一と、

尾花　尾花貴絵がお送りしていく

「埼玉　彩響のおもてなし」最後までお付き合いください。

【　ジングル　】

久礼　　「埼玉　彩響おもてなし」今夜のゲストを紹介しましょう。

　　　　株式会社オレンジリンクス代表取締役　吉田裕貴子さんです。

ゲスト　（ごあいさつをお願いします。）

尾花　　まずは、株式会社オレンジリンクスについてご紹介します。

　　　　設立は2015年、本社は埼玉県入間市にございます。

　　　　現在、超高齢社会の日本ですが、認知症の高齢者の方も増え、

外出先からご自宅に戻れなくなり、警察等に保護される方の社会問題が

顕在化している中で、保護された際に身元確認できる仕組みが

これまでとは違った形でできないかと研究し、「爪Qシール」を開発されました。

身元確認はこれまでも、衣服や靴に名札をつける、GPSをつける･･･などのシステムが

ありましたが、「爪Qシール」は、手や足、または背中に直接張るシールとなっているのが

ポイントです。

　　　　2015年に販売活動を開始され、数多くのメディアにも紹介され、

　　　　現在、日本国内だけでなく海外にも注目されている高齢者見守りシステムとなっています。

私たちが幼い頃の時代と違って、高齢化社会という言葉が当たり前の社会になってしまっていますが、日本に住んでいる以上、ご高齢の家族が居る以上、誰しもが経験する可能性がありますし、決して他人事ではない重要な問題だと感じている訳でありますけれども、

ますこの徘徊なんですが、特徴例を挙げるとするとどんな行動が徘徊にあたるのでしょうか？

徘徊することによって、事故やけがなどを含めリスクが高くなる/自転車や自動車に乗って・・

何か起きてしまった場合、徘徊してしまう方に罪はありませんので、徘徊リスクを家族自身がうまく管理する事が鍵となる気がするんですけれども・・・しますね。

徘徊する方の目的は何なのですか？

私の実家にも97歳の祖母が元気でいるのですが、今の所徘徊の行動は見受けられませんが、

今日は興味深く、高齢者の特徴や対策また、

身体が元気だからこそ徘徊リスクも高まる。

　　　　□そしてリスクを踏まえた管理、すなわち家族を守ってくれるのが、オレンジリンクスが手掛けた「爪Qシール」という事ですが、改めて、「爪Qシール」がどういうものなのか、吉田さんからご紹介いただけますか？

（商品の仕組み、システムの仕組みについてお聞かせください）

爪に貼ってスマホで読み込み・・GPSで管理する

爪にQRコードの付いたシールを張るというのは考えましたね　/　剥がれてしまうリスク

時代に伴って、徘徊抑止の商品というのは、カメラ機能もモノがあったり、GPSを備えた装置であったり、結構世に出回っている・・・この爪Qシールが選ばれる訳はどこに？

まずは、他製品に比べてコストがかからないという

爪であれば体への影響が非常に少ないという・・・

　　　　□この爪Qシールを研究し、開発されたのは、どのような背景があったのでしょうか？

　　　　　（開発に至った認知症の方の徘徊における具体的な背景をお聞かせください。）

　　　　□2016年には、本社のある入間市で、徘徊SOS支援事業の一つのツールとして

正式に採用されましたが、実際「爪Qシール」を利用された方からは、

どのような声をいただいていますか？

地元以外での行政機関の活用とすると利用率はどんな状況なのですか？

行政機関だけでなく警察また地域からの信頼もあるこの爪Qシールなんですね。

海外からも注目をされているとの事ですので

　　　　□「爪Qシール」は、今後どのような展開を考えていらっしゃいますか？

徘徊リスクを回避するべく・・・爪Qシールは家族だけでなくご近所の方を通じた活用も可能なのですか？

徘徊って、命に関わる出来事にも成りかねませんので、ご近所の方々との連携が可能な管理ツールであれば、さらに効果的

□「2025年問題」とよく言われていますが、あと6年でその時がきてしまいます。

　　高齢者が増え続ける日本。

高齢者を見守る地域になるために、どのようなことが必要だと思いますか？

日頃のご近所付き合いを通じた情報共有が出来る様な関係性

□この番組はゲストの皆さんにおもてなしの考えをお聞きしているのですが、吉田さんが考える「おもてなし」をお聞かせ頂けますか？

* 番組を聞いてくれているリスナーのみなさんにメッセージを。

今後さらに高齢化が加速する日本でありますので、爪Qシールの発信をさらに進めて頂いて家族みんなが安心出来る暮らしを支えるオレンジリンクスとして活躍を期待しております。

尾花　　本日のゲスト、株式会社オレンジリンクス　でした。

ありがとうございました。

【　ジンングル　END　TM　】

久礼　お送りしてきました「埼玉 彩響おもてなし」いかがだったでしょうか？

　　　⇒　久礼さんの感想を・・・

私の住むエリアでも年に数回、迷い老人の呼びかけを防災無線を通じて発信される事があって、年々増えている気がする

ある機関が発表したデータを見ると年間15000人の方が徘徊から行方不明になっていて年々増加中との事なので

高齢化社会が生み出した徘徊という事実を身近にある問題として私たちも捉えなければならないと・・今日の爪Qシールの活用の期待がさらに高まっていきそうですね。

尾花　株式会社オレンジリンクスについて詳しく知りたい方は、

　　　オレンジリンクスのホームページをご覧ください。

　　　「爪Qシール」の仕組みや内容についてご覧いただけます。

　　　お問い合せは　オレンジリンクスホームページのお問い合せからどうぞ。

さて、この番組「埼玉 彩響のおもてなし」では、

リスナーのみなさんからのメッセージもお待ちしています。

　　　番組の感想、番組に呼んでほしいゲスト。

埼玉の好きなところ、気になる企業、あなたにとっての“おもてなし”とは？などなど

メッセージは、メールで、

kure＠ｊｏｒｆ．ｃｏ．ｊｐ（くりかえし）まで。

　　　また、番組Twitter、久礼さんのInstagramのフォロー、コメントもお待ちしています。

それでは、「埼玉 彩響のおもてなし」そろそろお別れのお時間です。

久礼　ここまでのお相手は、久礼亮一と、

尾花　尾花貴絵でした。それでは、

２人　また、来週！